



2021年 6月 3日
第143号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



夏季手当について職場からさまざまな声が届いています！

これまで過去最高益を更新と黒字を重ねてきたのに、1年赤字に転落しただけで定期昇給が係数2に削られることは納得がいかない。

定昇が係数2だったので夏季手当をしっかり出してほしい。

ベアゼロ、定昇の減額がなされたので、夏季手当によって目に見える形で社員のモチベーションを上げることが強く求める。

コロナ禍でも感染リスクを負いながら通常通り仕事をしている。

結婚や出産、ローンで家を購入のためにも、夏季手当は絶対に必要。

夏季手当は生活給となっている。

他のJRもすべて赤字であるが定昇は満額である。なぜJR東日本だけ係数2？

コロナ禍で頑張っている社員が報われる回答にしてほしい。

定昇係数も下がり、このままではモチベーションがあがる要素がまるでありません。

過去最高益の時は少ししかボーナス増やさなかったのに、赤字になったら大幅に減らすってどういうこと？！

定期昇給や手当を減らす前に、黒字経営に繋がらない超勤を減らすべき。今やるべきことか疑問の超勤が多すぎる。

赤字なのに、まだ使える備品を買い替えているのはおかしい。

社員の不満たまっています！ 

社員の生活とモチベーション維持のために満額回答を求める！